

# 天神祭能船に被災地児童を招待

大阪北RC

東西日本大震災復興支援特別委員会 委員長

鴻池 一季

第2660地区大阪北ロータリークラブは昨年度より復興支援特別基金を設け東日本大震災復興支援事業として、大船渡小学校への教育機材支援、盛岡西北ロータリークラブ提唱のソーラー街灯への協賛や大船渡漁業協同組合へのユニットラック寄贈のための地区への義捐金拠出などの活動を実施してまいりました。この度当クラブで本年12月に創立60周年を迎えるに当たり、諸記念事業を実施するのに加え東北の被災地児童他26名を日本三大祭りである7月25日の大阪天神祭の能船に招待し、彼らを励ますとともに復興への祈りを共に捧げました。



招待したのは仙台空港が位置する宮城県岩沼市玉浦小学校児童22名と校長・教員4名の総勢26名です。児童たちは仙台より気温が10度も高い大阪の暑さにもげず大阪名物たこ焼き作りの体験や造幣局の見学の後、能船に乗り込み当クラブ所属の能楽師大槻文蔵会員が演ずる「翁」や「羽衣」、「土蜘蛛」などの能や狂言「口真似」を鑑賞したほか、能面をつけて舞台を歩む貴重な体験をしながら多くの船が行き交い大阪締めを交換する船渡御の様子に目を輝かせていました。翌日は水陸両用バスのお阪ダックツアーの後、南港ワールドトレードセンターでロータリアンとの交流会に参加、最後は天保山の海遊館を見学しました。交流会では山内校長から震災当時の模様や復興の様子説明そして今回の天神祭招待への答礼がありました。その後児童たちに今回一番楽しかったことはと尋ねたところやはり天神祭と能の体験とのことでした。

今回の事業はマスメディアでも取り上げられ、新聞2紙とテレビでもニュースで紹介がありロータリー奉仕活動の広報の実をあげることができたと思います。